

Web2.0時代の印刷

社団法人 日本印刷技術協会

研究調査部部長 郡司秀明

gunji@jagat.or.jp

印刷業の特質

- ・ 大手印刷会社
 - ・ 日本を代表する総合メディア産業
 - ・ 信用度も高い
- ・ 中堅印刷会社
 - ・ 急行停車駅にある印刷会社は
 - ・ ライオンズクラブの会長（土地の名士）
 - ・ 総合サービス産業だった
 - ・ 地方のPOPは独壇場
- ・ しかし過去に苦い経験が
 - ・ ワンソースマルチユース
 - ・ マルチメディアの失敗

Drupa2008でのhp



どれだけ大きいか

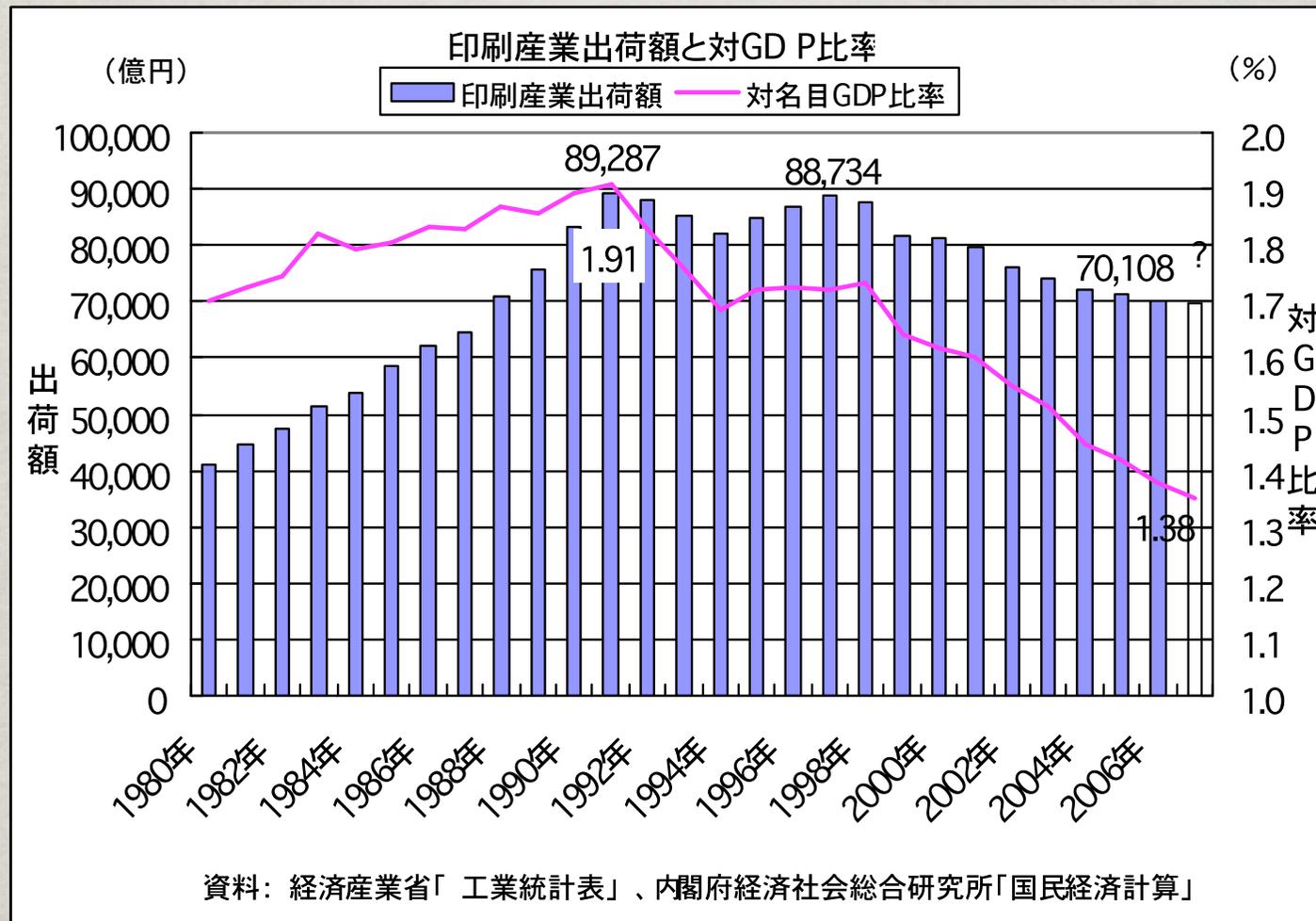


基本認識：印刷産業の現状概観

印刷産業の出荷額は9年連続のマイナス成長

* 業界固有の問題で対GDP比の低下も続く

→ プリプレスの付加価値低下、価格低下、ネットの影響



価値観の変革

- ・ 昔は安かろう悪かろう
- ・ 今は安かろう良かろう
 - ・ 例えば
 - ・ プロファイル
- ・ Webは全てのビジネスで無視できないものに
 - ・ だからRGBフロー
- ・ Web2.0ビジネスに直接乗り込むのはやめた方がよい
 - ・ バベルの塔
 - ・ ではどうするか？
 - ・ 仕組みを上手く使うのがよい

Web to Print

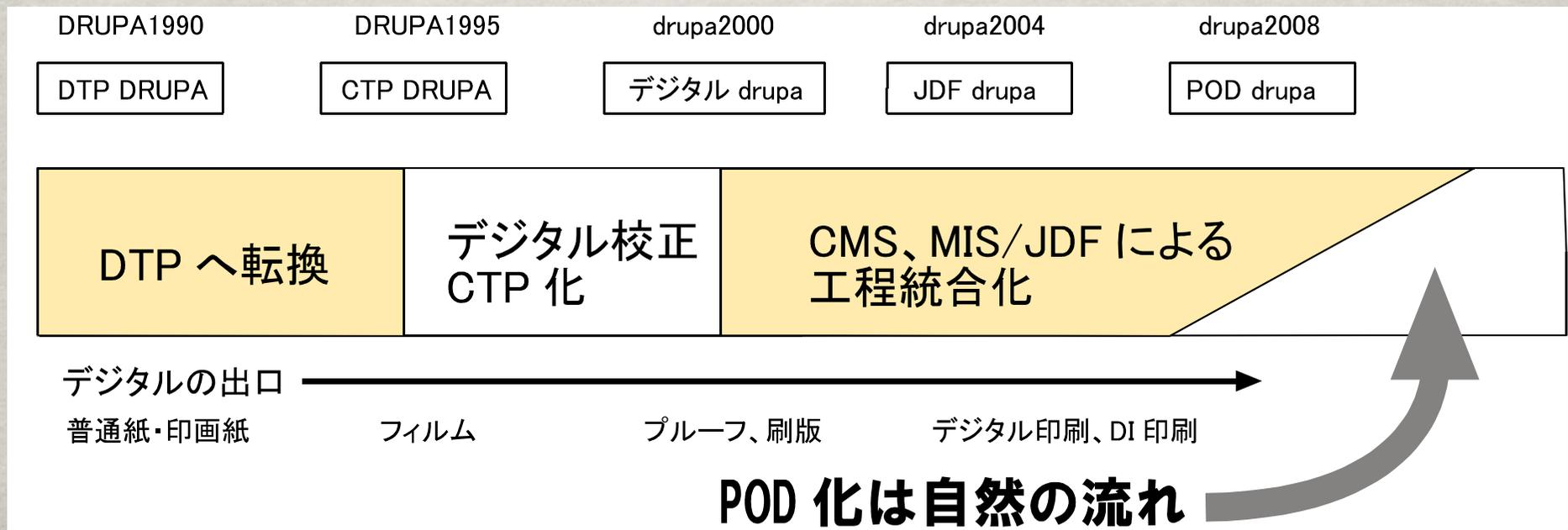
- <http://www.rococo.co.jp/>
- http://www.loyal.co.jp/gaiyou/l_group/LCS/LCS.html
- <http://www.profield.jp/>

グローバル化、中国の脅威

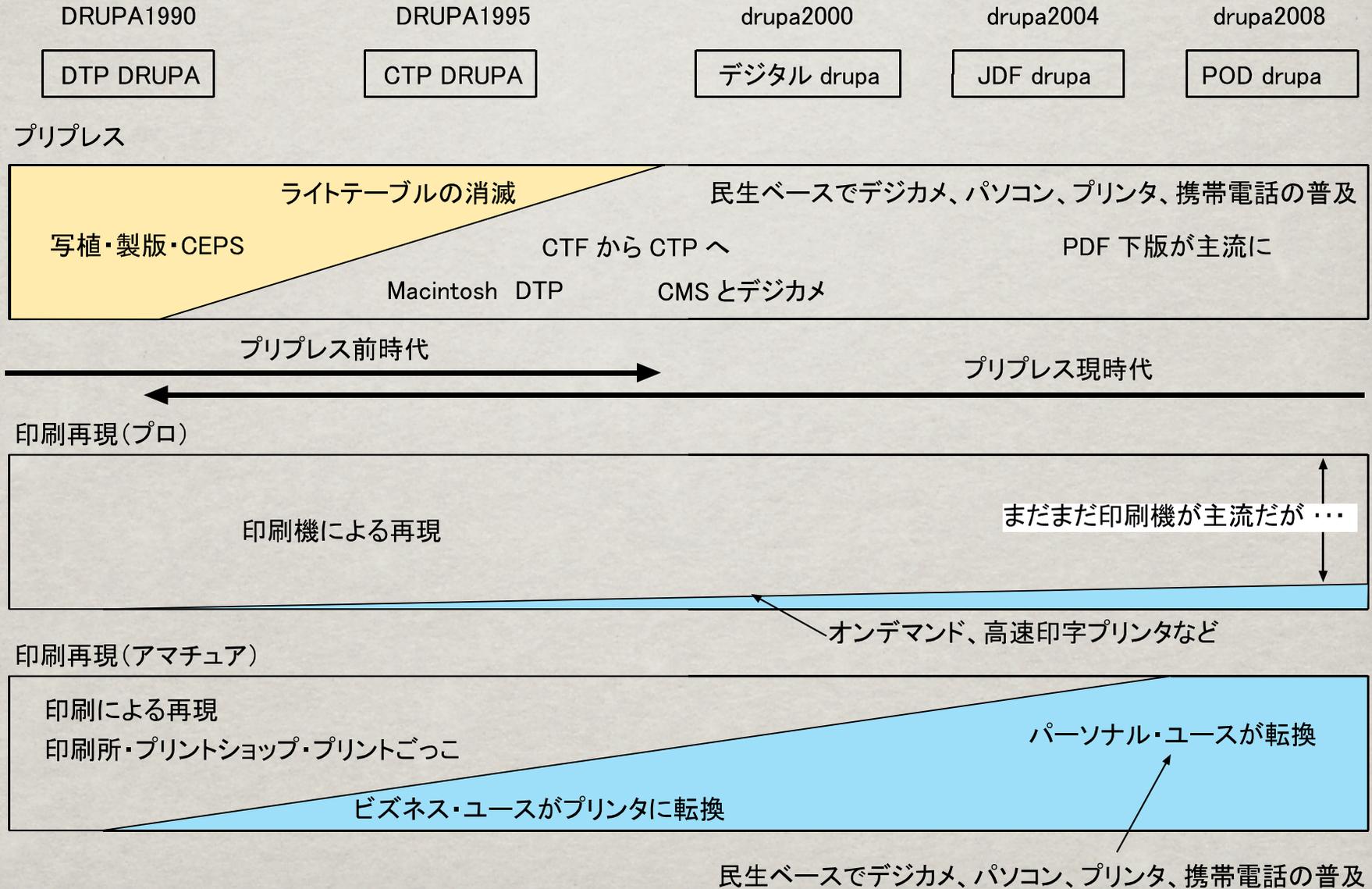
- どう考えたって、お金の取れる色演出は紙だけ
- 蛇足：スイス・イタリアの印刷品質も地に落ちている。
 - 要するに東欧に流れている。
 - 極東だって安い印刷物は中国に決まっている。
- 組版は中国
 - もしくは自動
 - もしくはお客様にやらせてしまう

drupa展にみるデジタルの変化

- そこには3つの区分が
 - 1990～1995年：DTP（PostScript）への転換期
前工程は写植・製版からMacintoshへ
 - 1995～2000年：デジタル校正・CTP化
CIP3によるプリプレスと印刷工程の融合化
 - 2000～2008年：ワークフローによる工程統合化と
技術の成熟・材料の減少
- デジタルの出口がCTP→印刷に **今後は？**



今後を予測する



印刷とプリンタの関係

・印刷とプリンタの比較

印 刷	プ リ ン タ
有版である	無版である
従って可変(バリアブル)印刷は不可	従って可変(バリアブル)印刷が可能
接触型(インパクト)である	非接触型(ノン・インパクト)もある
従って被印刷体が限定される	従って被印刷体が多彩である(インクジェットなど)
画像再現法は原則網点型	画像再現法が多彩
従ってモアレや多色再現で限界がある	デジタル画像の再現として幅広い可能性がある

一番大きな違いはココ
プリンタは**可変印刷**ができる
= 1部・1冊の考え方で印刷物を作る

ボーンデジタル

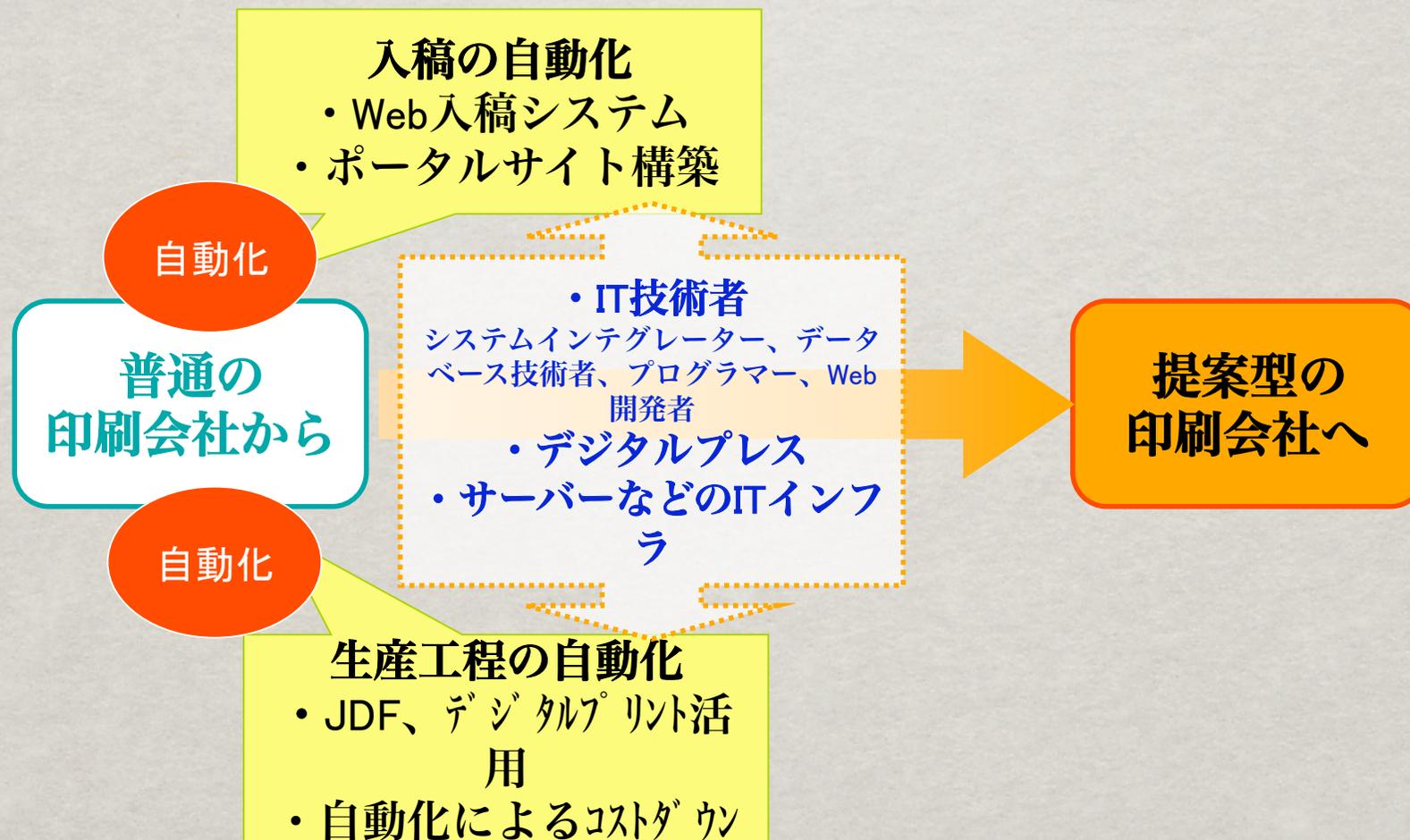
- ・ 実体がないものからのデータが多くなる
 - ・ CAD
 - ・ CG
 - ・ 動画
- ・ あっというまに席卷してしまう。
- ・ 大上段に構えず、まず実践が肝心かと

さて印刷ビジネスの今後は

- ・ Mass絶対時代の終焉
 - ・ アナログ印刷はMassと共に成長
 - ・ 印刷には大量がよく似合う
 - ・ IT化だろうと何だろうと大量がよく似合う
- ・ しかしMassも残る
 - ・ そこに特化したIT化が必要
 - ・ Web利用によるコストダウンは必須
 - ・ アナログは中ロットが限度??
- ・ 周辺クロスメディア
 - ・ 複合メディア
 - ・ デジタルサイネージ&POD

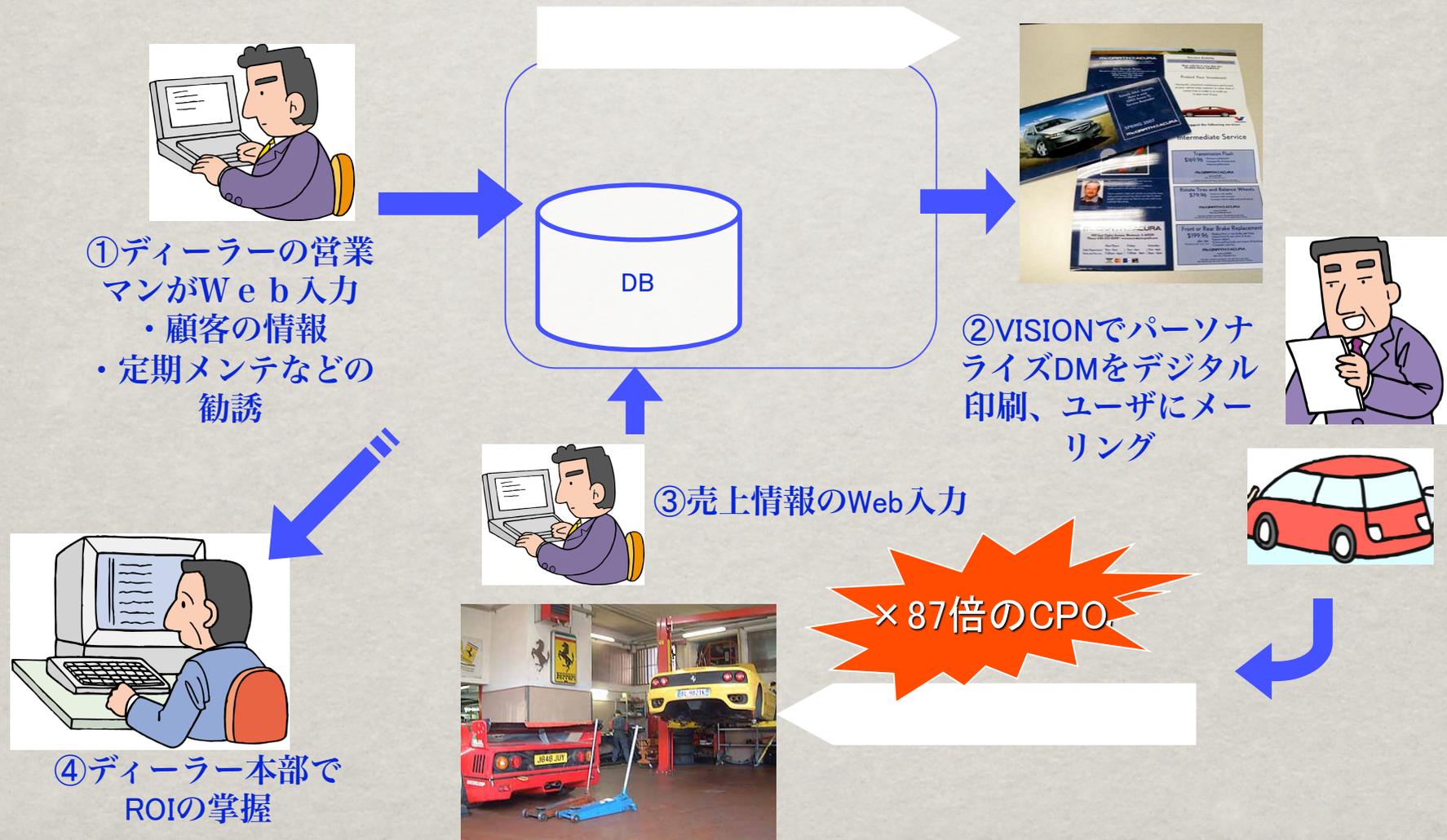
End to end(顧客から顧客まで)のIT化・自動化

- ⇒できるだけ「人の手が触れない」ように。
- ⇒前工程も後工程も。
- ⇒標準の利用 (PDF、JDF、PPML、vPDF)



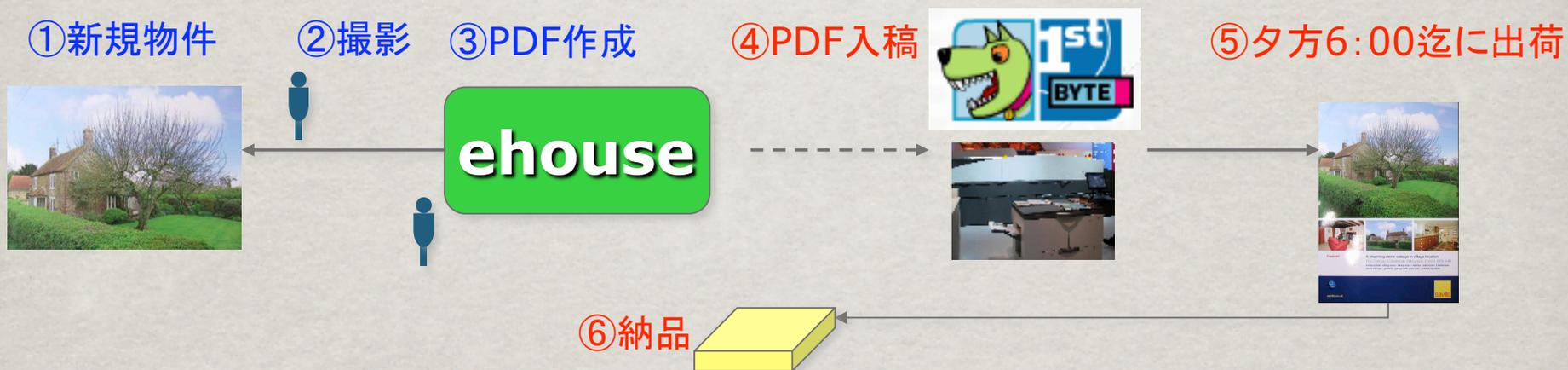
Web to Print+パーソナライズDM (米国) (B to B to C)

カーディーラー向 Web to Print



Web to Print 不動産広告 (英国) (B to B to B)

◎ 表面加工済で『100部翌日納品・9000円』×年間3600 job (売上の10%)



- 不動産ECベンチャー“ehouse”から、小部数パンフを請け負う。

ワンマンオペレーションでPDFから本が出来る

- ・ 究極の自動化ライン
 - ・ デジタル印刷機（ロール給紙） + 製本ライン
 - ・ ミューラーマルチーニ

